

安全

学習の冒頭に「実習の安全」として、実習前、実習中、実習後の一般的な注意事項を記述しました。実習中などの安全な作業の方法や事故防止のポイントには、「安全マーク」を付して、生徒への注意を喚起しました。

実習の安全

ここに示すのは、一般的な注意事項です。このほか工具や機器、器具の構造や取り扱いなどをよく理解し、安全に作業を進めましょう。

実習前

- ① 髪や足を露出しないような作業に適した服や履物を着用する。
- ② 作業に応じて、帽子や保護メガネ、防じんマスクを使用する。
- ③ マフラーや手ぬぐいを、首に巻いたり、腰に掛けたりしない。また、指示された場合を除き、手袋はしない。



実習中

- ④ 機器は先生の指導の下で使用し、安全を確認してから始動する。異常が起こった場合は、すぐにスイッチを切る。
- ⑤ 作業が終わったら、そのたびにスイッチを切る。
- ⑥ 工具は、使用目的以外には使用しない。
- ⑦ 通路は絶対に走らない。また、右側通行など決められた約束を守り、物を持っている人の通行を優先する。



- ⑧ 作業中は、作業面から目を離さない。また、作業をしている人の体に触ったり、話しかけたりしない。
- ⑨ 作業台の上は整理しておき、通路には物を置かない。
- ⑩ 材料の切りくずは、吹かない。機器を停止した後、はけで除去する。
- ⑪ 刃物の受け渡しは確実に、柄の部分を受け取る人に向けて渡す。
- ⑫ 探光や換気に注意する。
- ⑬ 農薬を使用する場合は、マスクと手袋をして皮膚を露出しないようにする。散布後、顔や手を洗う。



実習後

- ⑭ 機器の掃除や給油は、電源の元スイッチが切れていることを確認してから行う。
- ⑮ 工具や機器は、手入れをしてから、定められた保管場所に戻し、整理しておく。
- ⑯ 床や作業台の上などを掃除し、こみや再利用できない切りくずなどは定められた場所に捨てる。
- ⑰ 実習後は必ず手を洗う。



▶ p.42~45「製作の工程と材料に適した工具や機器」

コンピュータの安全な使い方

- ① インターネットでは、電話番号、住所、電子メールアドレス、はっきりと顔が分かる写真などの個人情報を気軽に入力しない。
- ② ネットショッピングなどのインターネット上の取り引きやアンケートに応募するときには信頼できる相手か、連絡先が明記されているかなどを十分確認する。



- ③ ユーザーIDとパスワードなどは厳重に管理する。
 - 不用意に他人に教えない。
 - 容易に推測できるパスワードは使わない。
 - ノートや紙など人に見られる可能性がある物に書かない。
 - 定期的に変更する。



▶ p.196「個人を特定する仕組み」
p.198「情報モラル」
p.199「情報を安全に利用するための心掛け」

p.201「知的財産権」
p.212「顔写真の取り扱い方」
p.213「著作物の利用方法」

けがの応急手当

実習中にけがをしたときは、すぐに先生を呼びましょう。

- 切り傷
清潔な水で傷口を洗い、清潔なハンカチなどで傷口を押さえ、血を止めましょう。
- やけど
すぐに清潔な水で十分に冷やしましょう。



製作の工程と材料に適した工具や機器

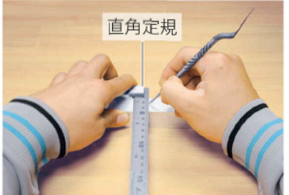
工程	材料に適した工具や機器	作業の安全
材料のけがき	材料のけがき	けがき針は目的には使用しない。 持ち運びや使用中に落とさないように注意する。 作業台の端に、けがき針を置かない。 削りくずから、特定の用途に指定してある。 (例) 鋸「木質のけがき針」 「プラスチックのけがき針」
削り	削り	削り針の向きを確認してから、作業を始める。 材料を確実に固定するためのジグや工夫方法を使用する。 (例) 鋸「材料の固定」 「安全のけがき針」
削り	削り	削り針の向きを確認してから、作業を始める。 材料を確実に固定するためのジグや工夫方法を使用する。 (例) 鋸「材料の固定」 「安全のけがき針」
削り	削り	削り針の向きを確認してから、作業を始める。 材料を確実に固定するためのジグや工夫方法を使用する。 (例) 鋸「材料の固定」 「安全のけがき針」
削り	削り	削り針の向きを確認してから、作業を始める。 材料を確実に固定するためのジグや工夫方法を使用する。 (例) 鋸「材料の固定」 「安全のけがき針」

製作の工程と材料に適した工具や機器

工程	材料に適した工具や機器	作業の安全
削り	削り	削り針の向きを確認してから、作業を始める。 材料を確実に固定するためのジグや工夫方法を使用する。 (例) 鋸「材料の固定」 「安全のけがき針」
削り	削り	削り針の向きを確認してから、作業を始める。 材料を確実に固定するためのジグや工夫方法を使用する。 (例) 鋸「材料の固定」 「安全のけがき針」
削り	削り	削り針の向きを確認してから、作業を始める。 材料を確実に固定するためのジグや工夫方法を使用する。 (例) 鋸「材料の固定」 「安全のけがき針」
削り	削り	削り針の向きを確認してから、作業を始める。 材料を確実に固定するためのジグや工夫方法を使用する。 (例) 鋸「材料の固定」 「安全のけがき針」
削り	削り	削り針の向きを確認してから、作業を始める。 材料を確実に固定するためのジグや工夫方法を使用する。 (例) 鋸「材料の固定」 「安全のけがき針」

▲実習の安全(p.4-5)

棒材のけがき方



直角定規を棒材にしっかりと当て、けがき針でけがき。

穴や円の中心のけがき方



センタポンチの先を、穴や円の中心に合わせて、ハンマで軽くたたく。

安全

- けがき針を渡すときは、針先を人に向けない。
- けがき針を持ち運ぶときは、針先を下に向ける。



▲製作工程を知る際の安全(p.42-43)

製作を行う前に、加工のための工具や機器の安全な使用方法を確認できます。

▲基礎技能の中での安全(p.69)